

報道機関 各位

令和3年6月28日  
国立大学法人電気通信大学

## 20 台の IoT 型 CO<sub>2</sub> センサーにより三鷹市民の安全安心を確保 ～コミュニティ・センター、芸術文化センター、市庁舎などに設置～

国立大学法人電気通信大学(学長:田野俊一、以下「電通大」と東京都三鷹市(市長:河村孝、以下「三鷹市」)は、産学官連携の取組の一環として、三鷹市内の各種公共施設における室内の CO<sub>2</sub> 濃度を可視化し、良好な換気状態を維持する実証実験を共同で実施します。

実施にあたっては、電通大 情報理工学研究科の石垣 陽 特任准教授及びイー・パワー・エネルギー・システム研究センターの横川 慎二 教授が開発した高精度の小型 CO<sub>2</sub> センサー(以下「センサー」)を活用します。



小型 CO<sub>2</sub> センサー



設置場所の例

## 【概要】

三鷹市内の一部公共施設にセンサーを設置し、センサーの色と数値表示により CO<sub>2</sub> 濃度の測定値を「見える化」します。測定値が基準値 1,000ppm(※)を超過した場合は、無線ネットワークを経由してデータを収集している電通大から三鷹市の担当課へ自動的にメールが送信され、当該情報に基づいて担当者が適切な換気を実施します。

(※)基準値 1,000ppm とは、法令で定められている二酸化炭素含有量の基準

## 【設置場所】

- (1) 三鷹市内の各コミュニティ・センター
- (2) 三鷹市芸術文化センター
- (3) 三鷹ネットワーク大学
- (4) 市庁舎

計 20 か所

## 【運用開始】

令和 3 年 6 月 28 日(月)

◆ 本リリースに関するお問い合わせ先

電気通信大学総務企画課広報係

TEL 042-443-5019 MAIL kouhou-k@office.uec.ac.jp